

**NPO のパソコン・インターネット
活用状況調査 報告書**

2007 年 9 月

ひょうごんテック

本報告書発行に際して

この報告書は、神戸市近辺の非営利活動団体（NPO）が、パソコンなどの IT をどのように使っているのか、またどんな問題が発生しているのかについて実施したアンケート調査の集計結果をまとめたものです。IT に詳しくない人でも読めるように平易な記述をこころがけました。この報告書をご覧になった方々が、ここで明らかになった非営利団体の現状への理解を深め、私どもと一緒に解決に向けて一歩踏み出していただければ幸いです。

執筆は序章～第七章を大橋和美、第八章を緒方和也が担当しました。

調査回答を頂いた諸団体の皆さまをはじめ、特定非営利活動法人たかとりコミュニティセンター、ひょうご市民活動協議会、関西学院大学吉野太郎研究室、ひょうごボランティアプラザからは本調査実施に多大なるご協力をいただきました。また日頃よりひょうごんテックの活動にご支援を賜っております多くの方々に支えられてこの報告書はできあがりました。ここに改めて深く感謝致します。どうもありがとうございました。

2007 年 9 月

ひょうごんテック
代表 吉野 太郎
緒方 和也
大橋 和美

◆本書は、法律の定めのある場合または権利者の許諾のある場合を除き、いかなる方法においても複製・複写することはできません。

◆本編中の社名、商品名およびサービス名は、各社の登録商標または商標です。

© 2007 HYOGONTECH

目 次

目次	1
序章 本調査の目的と実施方法及び概要	3
第Ⅰ章 調査対象団体	4
1. 所在地	4
2. 種別	4
3. スタッフ構成	4
4. 予算	5
第Ⅱ章 IT 使用環境	6
1. パソコン所有台数・取得ルート	6
2. 周辺機器所有状況	7
3. 使用している基本ソフトの種類と数	7
4. 使用しているオフィスソフトの種類	8
5. パソコンで行う業務	9
6. 業務で使うソフト	9
7. その他の使用ソフト	10
8. インターネット接続回線状況	10
第Ⅲ章 IT 関連費用	11
1. IT にかかる費用の種類	11
2. 年間の IT 関連費（概算）	11
第Ⅳ章 セキュリティと情報管理	12
1. データバックアップの有無	12
2. データバックアップの使用媒体、頻度、対象	12
3. パソコンのパスワード	13
4. パソコンをつないでのデータ共有	13
5. 団体のデータを持ち出す際のルール	13
6. アップデートの自動更新	14
7. ウィルス対策	14

第Ⅴ章 情報発信	15
1. 団体のウェブサイトの有無	15
2. 定期更新	15
3. 不足しているもの	15
4. 改善のヒント	16
第Ⅵ章 IT の使いこなしとスキル	17
1. パソコンで文書を作成するメリット	17
2. IT を使って解決したいこと	17
3. IT について解決したいこと	17
4. IT トラブル担当者	18
5. IT 活用のために足りないもの	18
6. IT 使いこなし度と IT 利用度.....	19
第Ⅶ章 IT について感じていること	20
1. こまっていること	20
2. 希望すること	21
3. その他.....	22
第Ⅷ章 課題と今後に向けて	23
参考資料：「NPO のパソコン・インターネット活用状況調査」調査票	27

序章 本調査の目的と実施方法および概要

目的

IT（パソコンやインターネット等）の社会への浸透はここ数年で急速に進み、NPOをはじめとする団体やグループでも文書作成や会計管理といった日常業務に必須のものとなっている。NPO等をIT面で支援する活動に取り組んできたひょうごんテックは、設立当初リユース（中古）パソコンの配布をメイン事業の1つとしてきたが、パソコンの低価格化とともにその事業を休止するに至った。NPOからはパソコン購入に代わって機材のトラブルやウェブサイト作成支援などの相談が多く寄せられるようになり、その内容も多様化してきている。

このような変化に対して、NPOが現在どのようにITを使っているか、求められているのはどのような支援かを改めて検証する必要を実感し、詳細な調査を行うことを決定した。

NPOのIT環境と今起こっているトラブルや今後予想される問題点を把握し、対応と支援の指針とすること、多くの団体のIT運営に資する調査報告を作成、発信することを目的として本調査を実施した。

実施期間

2007年1月26日から5月25日まで。

実施対象

神戸市内およびその周辺の非営利活動組織（以下NPOと表記）31団体。

実施手順

- i. 協力依頼を以下の団体に行った。
 - ・ 「特定非営利活動法人 たかとりコミュニティセンター」で活動している団体
 - ・ 「ひょうご市民活動協議会」のメーリングリストに参加している団体
 - ・ 個別に紹介された団体
- ii. 協力の返事のあった団体に調査票（p27～p31）を送付した。
- iii. 補足の聞き取りのためひょうごんテックスタッフが全団体を訪問した。

本報告書概要

本報告書では「第I章 調査対象団体」から「第VII章 ITについて感じていること」までに調査結果をまとめた。質問内容を囲み文字で、傾向と考察は●印の箇条書きで表した。問題点については◆印を付し、第VIII章の関連項目ページを文末に付した。また特に各団体の関心が高い情報発信については、「第V章 情報発信」に改善のヒントを記載した。

第VIII章「課題と今後に向けて」では、ここまでで明らかになった問題点を詳述し、ひょうごんテックが対応した事例を紹介しながら、各団体のIT力が向上するようITトラブルの対策を提示した。

巻末には調査票を付した。

第 I 章 調査対象団体

団体名、住所、スタッフ人数をお答えください。(調査票 1-①～③)

1. 所在地

神戸市							その他	計
中央区	長田区	須磨区	灘区	垂水区	西区	東灘区		
10	8	4	2	1	1	1	4	31

*その他の4団体は尼崎市、西宮市、大阪府

2. 種別

種別	NPO 法人	任意団体	財団法人	その他	計
団体数	17	10	2	2	31

*その他は労働組合と社会福祉法人

3. スタッフ構成

勤務形態	フルタイム	パートタイム	ボランティア	計	ボランティア以外
総人数	80	78	255	413	158
1 団体あたりの人数	3.2	3.3	10.6	13.3	5.4
それぞれのスタッフがいる団体数	25	24	24	31	29

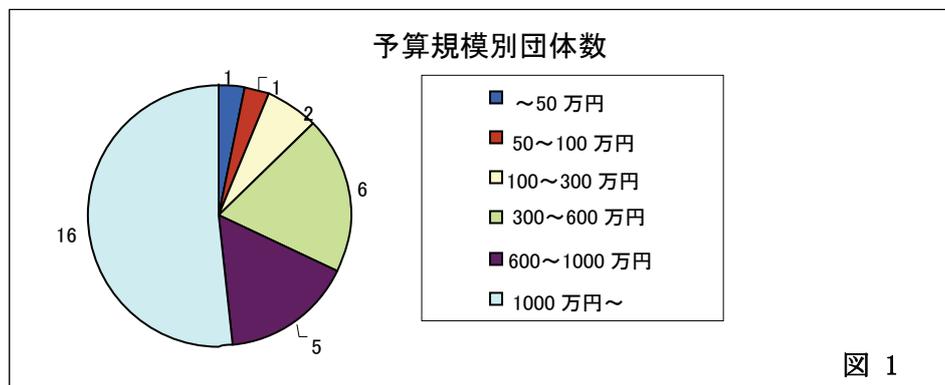
● 本調査の対象団体には、比較的 IT への関心が高くスキルのあるスタッフが含まれている。
調査への協力呼びかけはメーリングリストを主に利用した。IT への興味が高いスタッフや団体からの反応がよかったのに比べ、パソコンを所有していない、もしくはあまり利用していない団体からは「IT のことはわからない」と断られることが多かった。

● 本調査においての団体は、当該団体が公的に発表しているものとは異なることがある。
本調査では、「日常的に継続して同種のパソコン作業をしているグループ」を「1 団体」とした。例えば作業所が複数ある団体で、1 つの作業所のみを団体として回答しているケース、反対に団体は2つだが作業が共通なので1つの団体としてカウントしているケースなどがある。基本的には、上記を説明したうえで回答者の判断により申告されたものを集計した。

● 日常的に業務に携わるスタッフは団体平均 5.4 人。
スタッフ構成は各団体の勤務形態ごとの人数を集計したもの。フルタイム、パートタイムについては週 4 日以上か未満かをめどとし、無給のスタッフはボランティアとした。ボランティア以外を「日常業務をするスタッフ」として集計したところ 29 団体で平均 5.4 人という数字になった。

4. 予算

2006 年度予算の規模を選択肢の中から選んでください。(調査票 1-④)



- 調査団体の年間予算は半数が 1000 万円超。予算、スタッフ人数とも全国平均よりやや上。
内閣府が行った全国から無作為に抽出した市民活動団体への調査¹によると、スタッフ 5 人未満が 54.1%を占めており、一法人あたりのスタッフ数（平均値）は 8.3 人、年間収入及び年間支出が 500 万円未満の団体が全体の 5 割、1000 万円未満が 6 割を占めている（平均値は年間収入 1745 万円、年間支出 1274 万円、中央値は 484 万円、443 万円となっている）。神戸の限定された団体を対象とした本調査は、（調査手法の違いはあるものの）スタッフおよび規模の平均が、全国平均よりやや大きい団体が対象となっている。

◆ 問題点

今回明らかになったのは、各団体ともフルタイム、パートタイム、ボランティアそれぞれをスタッフとして迎え入れていることである。これは業務に関わる人数が多いことを示し、十分な意思疎通や業務ルールの徹底が難しくなる要因の 1 つとなる。特に IT 使用においては意思疎通が十分でない複数のスタッフが 1 台のパソコンを使うことで、内部管理の困難さを引き起こしていると推測される。またスタッフの入れ替わりが頻繁に起こることにもつながり、パスワードが不明になったりファイルが見つからない、といったトラブルの原因ともなる。

⇒スタッフの交代をきっかけとして（第 VIII 章 p25）

¹ 平成 18 年度市民活動団体基本調査報告書（平成 19 年 4 月 内閣府国民生活局）
<http://www.npo-homepage.go.jp/data/report22.html> より

第Ⅱ章 IT 使用環境

1. パソコン所有台数・取得ルート

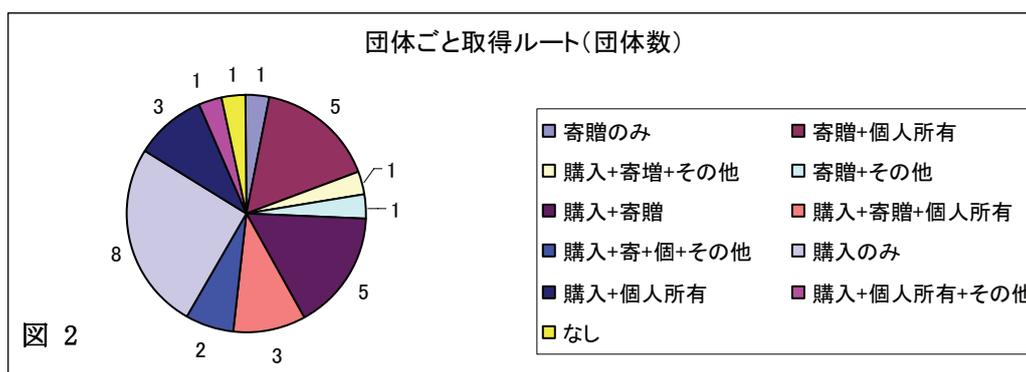
団体の業務に使用しているパソコンの台数を入手経路別にお答えください。(調査票 2-①)

所有パソコン台数	0	1台	2台	3台	4台	5台	6台	8台	9台	10台以上
団体数	1	1	7	8	1	4	2	2	2	3

*10台以上の3団体は14台、18台、19台を所有。

	購入	寄贈	個人所有	その他	計
台数	104	27	21	8	160
所有団体数	23	18	14	5	-
平均台数	4.5	1.5	1.5	1.6	5.3

*その他とは、リース、他団体との共用。



- パソコンや周辺機器を所有しているのは30団体。

団体としてパソコンは所有していないが、個人所有のものをスタッフ自宅で業務に使用している1団体があった。本調査では自宅での作業を対象にしなかったため、なしとして集計した。

- 入手経路がそろっていないことから発生する問題がある。

パソコンが今より高価だった頃行われたリユース（中古）製品の配布や、買換えで不要になったパソコンの寄付などがあったことが主な要因である。

- 台数はほぼスタッフ1人に1台が行き渡っている。

日常的に業務に携わる平均スタッフ人数5.4人（p4参照）に対して、1団体には平均して5.3台のパソコンがある。台数だけ見るとほぼ1人1台になっており、団体によって事情は異なるが、一般的にパソコンがほぼ行き渡ったという状況になっている。

2. 周辺機器所有状況

団体所有の周辺機器や機材の種類と台数をお答えください。(調査票 2-②)

	プリンタ	スキャナ	複合機	LANDISK	その他	計
台数	53	21	18	4	4	100
所有団体数	26	16	16	4	4	-
平均台数	2.0	1.3	1.1	1.0	1.0	2.0

- プリンタはそろっているが、LANDISK²はまだ普及にまで至っていない。

プリンタは 26 団体、スキャナと複合機も半数の団体が所有している。プリンタについては、10 台所有している団体がひとつあったので、その分平均台数値も上がっている。その他は印刷機とサーバ。

◆ 問題点

第Ⅲ章で述べるように、NPO の IT 予算は十分ではない。また情報の不足もあり、LANDISK を利用しているのは 31 団体中 4 団体に留まっている。これは効率的な情報管理ができない原因の 1 つである。

⇒情報管理について (第Ⅷ章 p25)

3. 使用している基本ソフトの種類と数

団体のパソコンの基本ソフト (OS) の種類をお答えください。(調査票 2-③)

	Windows XP Pro	Windows XP Home	Windows 2000	Windows Me	Windows 98	Mac	その他 (Win95)	計
総数 (台数)	35	69	15	9	9	22	1	160
所有団体数	13	22	9	6	9	7	1	-

団体所有の基本ソフト数	1 種類	2 種類	3 種類	4 種類	5 種類
団体数	10	8	8	3	1

- Windows XP で全台数の約 6 割を占めるが、Windows Me や 98 も現役。

Windows Me や Windows 98 は、メーカーサポートを終了しているが、半数近くの団体で使われている。調査時 Windows Vista の使用は 0 だった。

² ネットワークで接続できる外付型ハードディスク。

4. 使用しているオフィスソフトの種類

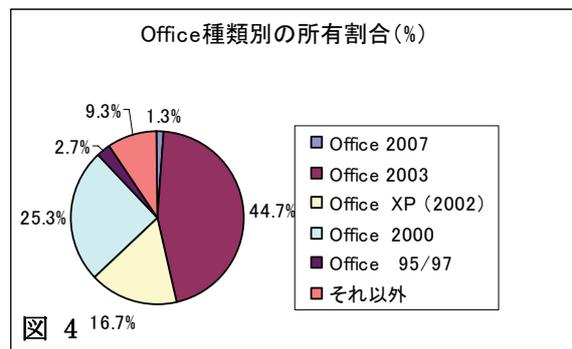
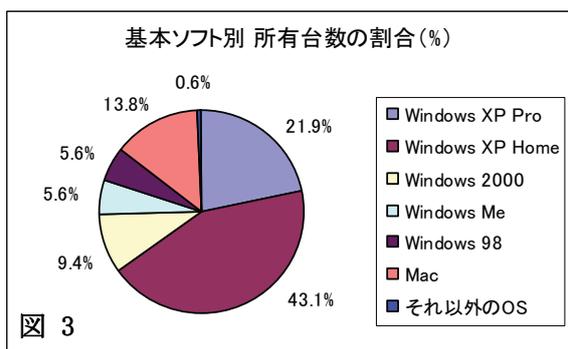
Microsoft Office を使っていますか？使っていれば種類をお答えください。(調査票 2-④)

	Office 2007	Office 2003	Office XP (2002)	Office 2000	Office 95/97	その他	合計
台数	2	67	25	38	4	14	150
所有団体数	1	21	9	16	4	7	-

* Office XP と Office 2002 は同一。

* その他は Mac 用 Office が 12 台、OpenOffice³ が 1 台、Microsoft Works⁴ が 1 台、オフィスソフトなしが 11 台 (1 台はデュアルブート)。

* オフィスソフトが搭載していない理由として、機種が古いので日常使っていない、特殊な用途に限っている、などの回答があった。



● Office2003 が半数近くを占めた。

オフィスソフトのバージョンが異なると、作成文書のレイアウトが崩れる場合がある。Office2007はまだ使用率は低い、それ以前のソフトとの違いが大きいため、今後業務の停滞を引き起こす可能性がある。

◆ 問題点

基本ソフトやオフィスソフトの種別は、図 3、図 4 のとおり多様であり、これが原因で起こるトラブル (文書のレイアウトが崩れる、新しいソフトウェアのインストール時や機材の増設時にうまくいかない等) が多く見られる。基本ソフトやソフトウェアのバージョンは一定期間を過ぎると新しいものが登場するので、今後この問題は深刻化することが考えられる。

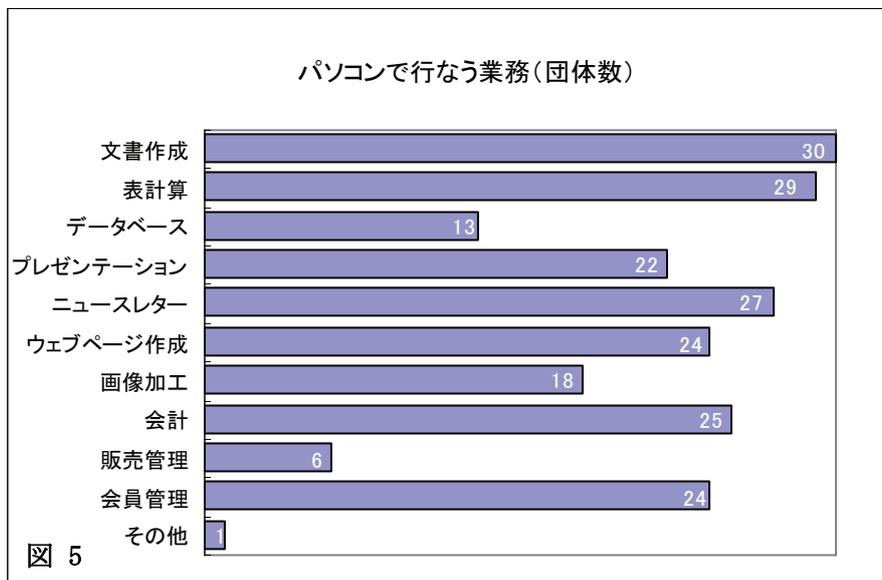
⇒ パソコンのトラブル・Windows の問題 (第VIII章 p24)

³正式名称は OpenOffice.org。ワープロソフトや表計算ソフトなどを統合したオフィスソフト。Microsoft 社の Office との互換性を持っており、無料で入手できる。

⁴ Microsoft 社のオフィスソフト。Microsoft Office の家庭版。

5. パソコンで行う業務

パソコンを使って行う業務は？（調査票 2-⑤）



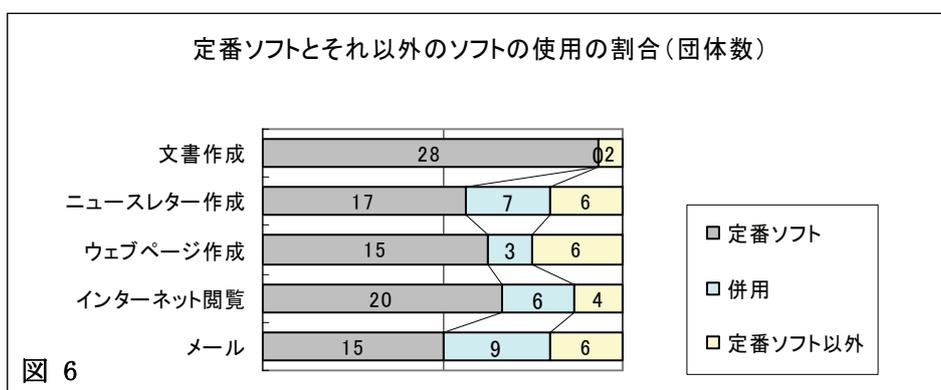
6. 業務で使うソフト

業務で常時使っているソフトは？（調査票 2-⑥）

	文書作成	ニュースレター作成	ウェブサイト作成	インターネットブラウザ	メールソフト
定番ソフト	Word	Word	ホームページビルダー	Internet Explorer	Outlook Express
定番ソフト以外	・AppleWorks ・一太郎	・AppleWorks ・Illustrator	・Netscape Composer ・Dreamweaver	・Netscape ・Firefox ・Safari	・Eudora ・Becky! ・Thunderbird ・ウェブメール

*ここでの定番ソフトとは、最も多く使われていると思われるソフトのことを指している。

- 定番ソフト以外にフリー（無料）ソフトも使われている。
特にインターネットブラウザやメールソフトでは各種のフリーソフトやインターネット上でやりとりできるウェブメールなどが利用されている。



- ソフトの選択をしているのは IT 担当者。
定番ソフト以外を使用している理由として、「特に理由はない」「担当者の選択」「定番ソフトは好みでない」という回答があった。また何を選んでよいのか情報がない、という声も聞かれた。

7. その他の使用ソフト

その他に使っている主なソフトは？複数回答可。（調査票 2-⑦）

Microsoft PowerPoint	Microsoft Access	Microsoft Publisher	Adobe Photoshop	Adobe Illustrator	Adobe Acrobat	その他
23	4	4	12	10	9	7

- IT 担当者がいないと困ることがある。
PowerPoint 使用団体が多いが、自由回答でも、このソフトに関するコメントは無かった。Access、Photoshop、Illustrator については、担当者がいないとわからない、使い方が難しい、という声があった。

8. インターネット接続回線状況

インターネット接続の種類を選択肢の中から選んでください。（調査票 2-⑧）

種別	光	ADSL	CATV	ダイヤルアップ	その他	計
団体数	14	12	2	1	1	30

*光のうち 6 団体は光 1 回線を共有している。その他はフレッツ ISDN で接続している。

*場所の都合や万が一に備えてという理由で、3 団体が光回線の他に別種の回線を契約していた。

- ブロードバンド接続が普及している。
ブロードバンド接続になっていない団体がわずかながらある。

第Ⅲ章 IT 関連費用

1. ITにかかる費用の種類

この1年で支出したIT関係項目をお答えください。(調査票3-①)

	ハード	ソフト/ サービス	接続	委託	書籍等	インク 等	廃棄
支出あり	18	24	25	14	12	30	15
支出なし	12	6	5	16	18	0	15

*ハード=パソコン・周辺機器 ソフト/サービス=ソフト購入やオンラインサービス利用費
 接続=インターネット接続の関連費 委託=ウェブサイト作成や修理費など
 書籍等=学習、研修、書籍購入費 インク=プリンタインクやタック紙などの消耗品
 廃棄=廃棄費やその他項目 (項目の詳細はp28の調査票を参照のこと)

● IT費は日常消耗品がほとんど。

各団体のIT関連費用を簡易に算出するため、便宜的に上記7つの項目に分類した。大半の団体から「インクやトナーが高すぎる」という意見が聞かれた。

2. 年間のIT関連費(概算)

この1年でIT関連の支出額を選択肢の中から選んでください。
 また今後IT費をどうしたいですか？(調査票3-②~③)

年間IT費	～5万	5～10万	10～30万	30～60万	60～100万	100万～
団体数	9	8	10	2	0	2

平均値	23.7万
中央値	7.5万

*年間IT費が100万円以上の団体については正確な金額(単位・万円)を確認した。
 *その他の団体については各金額欄の中央値を用いて算出した。

今のままでよい	増やしたい	減らしたい
9	10	12

● 団体運営状況によってIT費は削減される。

100万以上出費の団体は、機材の購入やパソコンの入替えなどの時期に当たっている。「お金があればやりたいことはたくさんある」という意見もあり、関心は高いが資金的にその余裕がない団体が多い。

第IV章 セキュリティと情報管理

1. データバックアップの有無

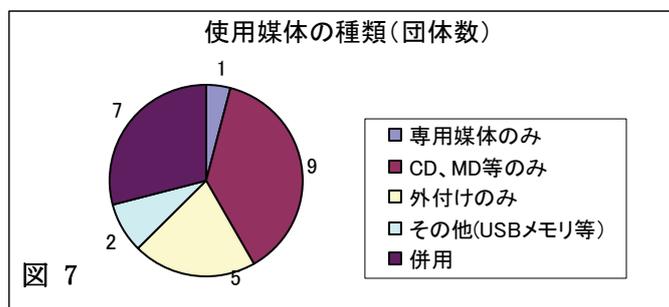
データバックアップを行っていますか？（調査票 4-①）

している	24
していない	6
計	30

2. データバックアップの使用媒体、頻度、対象

データバックアップのやり方について選択肢の中から選んでください。（している団体）。
（調査票 4-②）

媒体		頻度		対象	
専用媒体	3	毎日	4	全てのデータ	3
CD、DVD 等	14	定期的に	5	一部のデータ	20
外付け HDD	10	思いついたとき	14	その他	1
その他	5	その他	1		
(複数回答あり)		合計	24	合計	24



● データバックアップは IT 担当者の判断に任されている。

データバックアップをしていないのは 6 団体。媒体は手近なものが選ばれている。頻度や対象は、IT 担当者に任されており、時間があれば作業をするが忙しくてできないときがある、という団体もある。IT 担当者の負担が大きいことが懸念される。

◆ 問題点

半数の団体では定期的なバックアップが行われておらず、毎日全てのデータをバックアップしているのは 1 団体のみであった（この団体は一度データを失った苦い経験から対策を採るようになった）。情報管理については明らかに団体間の格差が認められる。

⇒情報管理について（第VIII章 p25）

3. パソコンのパスワード

パソコンにパスワードをかけていますか？（調査票 4-③）

全てのパソコン	一部のパソコン	かけていない	計
9	11	10	30

- 全てのパソコンにパスワードを設定しているのは全体の1/3。

パスワードをかけていない理由としては、内部では問題ない、かけたほうがいいと思うが、地域の人など不特定多数の人が使うとき嫌がられる、やり方がわからない、などが挙げられた。

4. パソコンをつないでのデータ共有

複数のパソコンでのデータ共有をしていますか？していない場合データのやり取りに使っている媒体をお答えください。複数回答可。（調査票 4-④～⑤）

している	していない	一部している	計
12	12	5	29

*パソコンを複数台所有しているのは29団体。

メール	FD	CD	USB	その他
14	8	7	14	1

*その他として回答があったのは外付けハードディスク。

- データ共有は団体によってそれぞれ。必要がないという回答もあり。

複数のパソコンをつないでデータを共有している17団体のうち3団体は、その他の媒体を使ってデータをやり取りすることもあると回答した。データ共有をしていない理由としては、以前やってみたが使いにくかった、パソコンごとに作業内容が固定しているので共有する必要がない、といった回答があった。

5. 団体のデータを持ち出す際のルール

データを団体の外に持ち出すルールがありますか？（調査票 4-⑥）

文書化してある	話し合ったことがある	ない	計
0	7	23	30

- ルールを文書化している団体はなし。

スタッフの信頼関係に関わるのでルールを決めにくい、という回答があった。

6. アップデートの自動更新

Windows などの Update 自動更新を有効にしていますか？ (調査票 4-⑦)

している	わからない	していない	計
17	9	4	30

- 自動更新しているかが不明な団体が9。

自動更新を意図的に手動で行っている団体が2団体ある一方、自動更新になっているかどうかわからない団体もあった。団体間の格差が読み取れる。

7. ウィルス対策

パソコンのウィルス対策をしていますか？ (調査票 4-⑧)

している	一部している	していない	計
17	12	1	30

- ウィルス対策は万全ではない。

ウィルス対策をしていないパソコンについては、インターネットには接続していない、Mac だから安全、という理由であった。

◆ 問題点

ウィルスはより巧妙に多様になっており、ウィルス対策ソフトもアップデートしなければ危険である。またウィルス対策ソフト自体がパソコンのトラブルを引き起こすこともあり、確実な対策が取れているかどうか、専門家に見てもらったり、団体メンバー全員でのセキュリティ意識を高めたりといったことも大切である。

⇒ウィルス対策ソフトの問題 (第VIII章 p24)

第V章 情報発信

1. 団体のウェブサイト⁵の有無

団体のウェブサイト（ホームページ）がありますか？またある団体は誰が作成しましたか？
（調査票 5-②～③）

ある	いずれ作 りたい	作る予定 はない	計	団体内 部	外部委託 (有償)	外部委託 (無償)	計
28	3	0	31	22	3	3	28

2. 定期更新

団体のウェブサイトの定期更新はできていますか？（調査票 5-③）

定期更新できている	やりたいができていない	必要がない	計
21	8	0	29

*計29になっているのは、ウェブサイトを2つもつ団体があったため。

3. 不足しているもの

ウェブサイトをいずれ作りたい（3団体）、定期更新ができていない（8団体）場合、不足しているものを選択肢の中からお選びください。複数回答可。（調査票 5-④）

時間	人材	資金	その他
3	3	2	1

時間	人材	資金	その他
6	5	3	1

*その他は知識、スキル、ノウハウ、情報。

◆ 問題点

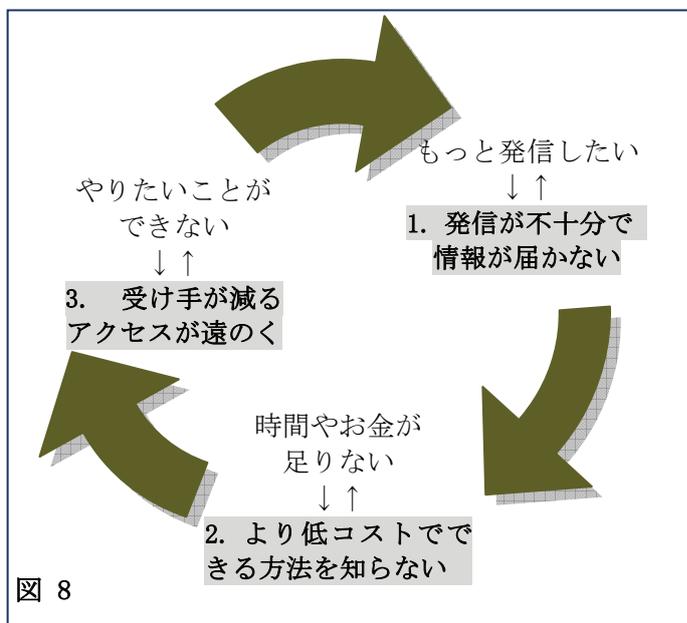
大部分が自団体のウェブサイトを持っており、定期的に更新もできていると回答しているが、情報発信については十分だとは思っていないという意見を多く聞いた。どこまで情報が届いているかわからない、リニューアルしたいがスタッフの交代などで人材がいなくなってしまった、業務に追われて時間がとれない、お金をかけられない、といった声もあるが、それでも情報は発信すべき、という意欲は多くの団体が示している。

⇒団体のウェブサイトと情報発信（第VIII章 p25）

⁵ 日本ではホームページと呼ばれることが多い。ウェブサイトのトップページをホームページと呼ぶこともある。

4. 【考察】改善のヒント

ウェブサイトをこれからどう運用していくかの参考に、情報発信がうまくいっていない団体、うまくいっている団体それぞれのポイントを以下に図式化した。

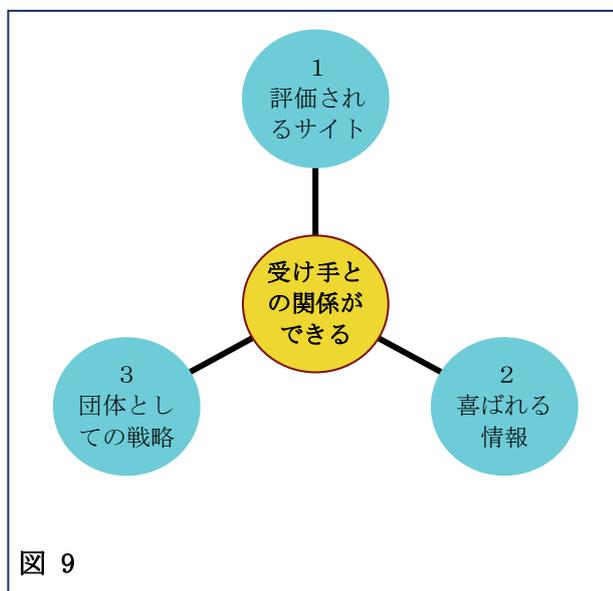


【うまくいっていない悪循環】

- 誰に届けたいか（広く大勢なのか、特定の人向けか、など）ターゲットを絞る
⇒届けたい人に適したツール
⇒検索で上位にくるような作り
⇒社会性のあるテーマやニュース
- お金や時間が本当に無いのか、もしくは今より低コストでできるやり方の情報を入手する
⇒無料のサービスやソフトを検討
⇒負担を全員で分担できないか
⇒技術がなくても情報発信は可能
- 未更新情報、閲覧しにくいサイトは大きなデメリット
⇒一度立ち止まって考える
⇒外部の意見を取り入れる

【うまくいっているところのポイント】

- 評価されるポイント（アクセシビリティなど）を理解している
⇒団体が担当がいなければ、外部のサービスを利用して評価されるサイト作りをしている
- 望まれる情報が掲載されている
⇒団体が蓄積してきたノウハウや充実したリンク集、豊富な画像や動画など、人の役に立つ、喜ばれる情報を提供している
- 図9中の1や2ができなくても、団体としての個性を発揮し、特化した情報、動画、定期的な更新などの工夫をしている
⇒スタッフが誇りをもてるサイトになっている



（この項は2007年6月16日にひょうごんテックが主催したミニシンポジウム「NPOと情報発信を考える」の内容を参考とした）

第VI章 IT の使いこなしとスキル

1. パソコンで文書を作成するメリット

文書作成をパソコンで行う理由を選択肢の中から選んでください。複数回答可（調査票 5-①）

理由	仕上がりがきれい	作業が早い	メールなどで配布可	再利用できる	その他
回答数	22	22	25	28	6

*その他の回答は、プリンタ出力のほうがコピーより安い、体系だった管理ができる、保存がしやすい、多量の保存が可能。

2. IT を使って解決したいこと

IT を使って解決したいことは？複数回答可（調査票 5-⑥）

理由	作業効率向上	情報発信	情報管理
回答数	19	25	23

*上記のほか、オンラインショップの充実、データ蓄積という回答があった。

● 最も関心が高いのは情報発信。

情報発信については、IT に関係なく、NPO としてもっと力をいれていかなければならない、という意見が複数あった。

3. IT について解決したいこと

IT について解決したいことは？複数回答可（調査票 5-⑦）

解決したいこと	セキュリティ向上	パソコン等 機材の購入	ソフトの 購入	ネットワー ク構築	スタッフの スキル向上	その他
回答数	19	11	10	12	25	4

* その他としては、映像の活用、IT ボランティア育成、データベース充実。

● 解決したいことの上位はスタッフのスキル向上とセキュリティの向上。

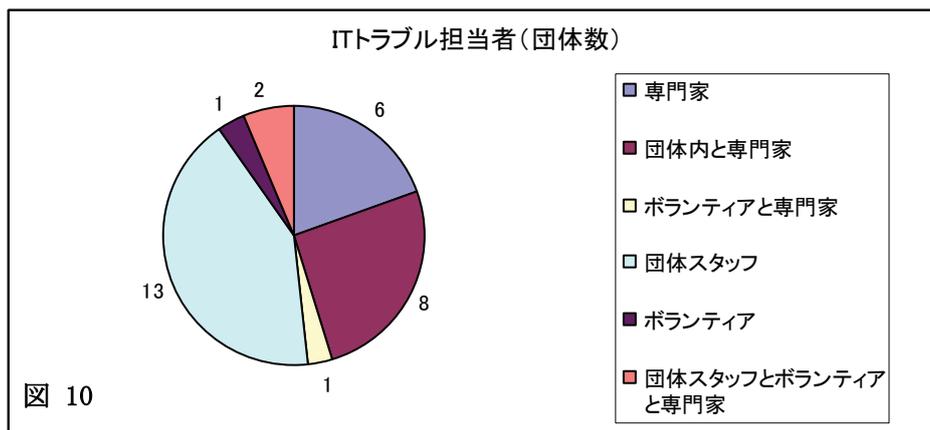
NPO のスタッフとして仕事をする場合、Word や Excel の使いこなしはほとんど必須のものとなってきている。また画像やウェブサイトを編集できる人材を求める団体も多い。スキル向上を望む気持ちはあるが、なかなか自分では勉強できない、業務に追われて時間が足りない、という声も多い。

4. ITトラブル担当者

ITのトラブルを解決してくれるのは？複数回答可（調査票6-①～②）

トラブル担当	団体内の スタッフ	外部のボラン ティア(無償)	専門家(業者や ひょうごんテック)	その他
団体数	23	4	17	0

* 専門家以外のトラブル担当 27名。うちIT職経験者は12人、経験なしが12人、不明2、無回答1。



- トラブルが起きたときの対応には複数の人が関わっている団体が多い。
時期やトラブルの内容により、複数の人が関わっている。

5. IT活用のために足りないもの

ITを活用するために不足しているものは？複数回答可（調査票5-⑧）

人材	専門窓口	資金	時間	その他
17	9	20	18	7

* その他はスキル、知識、情報などが挙げられた。

- 足りないものは1つではない。
なんとかしたいと思っているが足りないものがいろいろあってできないでいる、という団体が大部分であった。

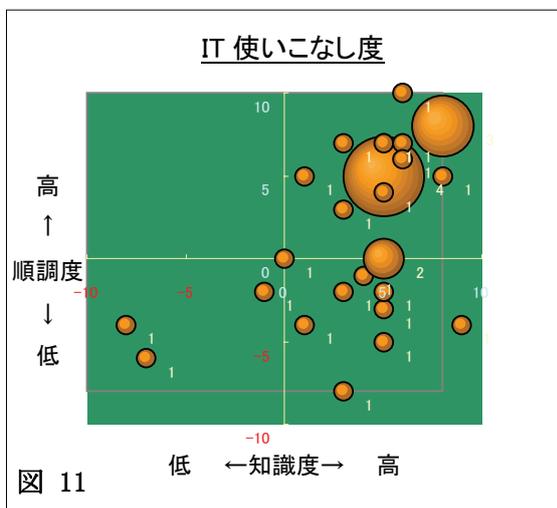
◆ 問題点

NPOでのIT分野は、日常業務の文書作成などのほかにウェブサイト作成やネットワーク構築など、これから一層広まることが予想されるが、それに対応するためには多くのものが不足している。ITトラブルを担当しているのは、「その時点で団体の中でITに詳しいスタッフ」であり、複数のスタッフ・ボランティアが関わると、作業が錯綜したりパスワードが不明になったりといったケースがあるほか、NPOの支援自体をどうするか、という課題もある。

⇒ スタッフの交代をきっかけとして（第VIII章 p25）

6. IT 使いこなし度と IT 利用度

回答者の方がご自分で感じる IT 知識度と IT 作業順調度、団体の IT 必要度と IT 利用度をそれぞれ-10～+10 までの数値でお答えください。(調査票 6-③)



*図 11 は、回答担当者に

- ・ 自分の IT 知識度(横軸)
- ・ 自分の作業順調度(縦軸)

をそれぞれ-10 から+10 までの数値で答えてもらったもの。

- 知識度は+5 周辺が多い。作業順調度は 0 未満が 11 団体。

知識度があっても順調だとは必ずしもいえない。IT 作業は複雑になってきている。

*図 12 は、回答担当者に

- ・ 団体の IT 必要度(横軸)
- ・ 団体の IT 利用度(縦軸)

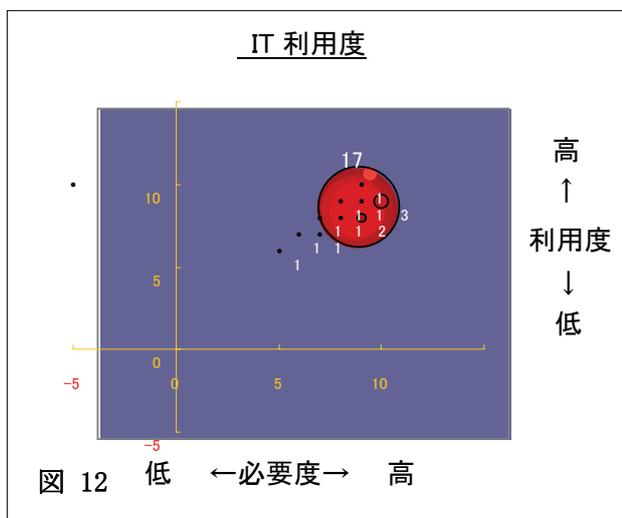
をそれぞれ-10 から+10 までの数値で答えてもらったもの。

- 必要度、利用度とも高い団体がほとんど。

どちらも 9 以上と答えた団体が 22。

- 支援が必要

IT 利用度は高いが使いこなせていないという現状に対しひょうごんテックなどの支援団体が継続的に取り組まなければならない。



◆ 問題点

図 11 と 12 を見ることで今の NPO の IT 現状を端的に表現している。業務に必須だが、作業は必ずしも順調ではない。これは担当者のスキルだけの問題ではなく、その団体の IT 総合力の問題であるといえる。

⇒団体間の格差について (第VIII章 p23)

第Ⅶ章 ITについて感じていること

回答者の方がご自分で感じる IT で困っていること、IT やそれ以外でも NPO の活動をしていて希望すること、その他ご意見を自由にお聞かせください。(調査票 6-④～⑥)

* 聞き取りの時間は、平均して 52 分。当初の見込みの 20～30 分よりかなり長くなった。以下は回答者の口述を聞き取り担当者が要約記録したものをまとめた。

1. こまっていること

【知識・スキル】

- ・ パソコンの使い方が難しい、説明書がわかりにくい、IT は敷居が高い
- ・ 業務上でのメール・データのやり取りで先方の IT スキルが低くフォローが必要
- ・ 自分で対応しようとする余計におかしくなってしまう
- ・ 日常の業務はできても有効活用するためには知識やスキルが足りない、使いこなせていない
- ・ IT のアドバイスやサポートをしてくれる人がいない
- ・ 新しいソフトに慣れるのに時間がかかる
- ・ パソコン以外で文書を作るウデが落ちた

【機材・ソフト・システムに関して】

- ・ パソコンやシステムが古いので、動作が遅く、トラブル多発で効率的な作業ができない
- ・ OS やソフトのバージョンが異なり、使い方がわからなかったりトラブルになったりする
- ・ 試してみたいことはあるが不安がある、システムやスキルの問題であきらめることもある
- ・ 業務をする上で新しい手法やソフトがあるはずだがそれがわからない
- ・ 通信関係の契約が多すぎる (プロバイダ、ドメイン名、レンタルサーバ等)
- ・ メールングリストは一度使って効果を感じなかった

【インターネット・セキュリティ関連】

- ・ 迷惑メールが多い、振り分けを使うと大事なメールを読み損ねることがある
- ・ 以前メールングリストを使っていたがウィルスに感染したことがありトラブルの元になった
- ・ ネット接続できないトラブルが多い、なかなか解決できない
- ・ ウィルス対策ソフトの動きが不安定で困る
- ・ セキュリティが気になる (メールや電話のあて先を間違えることがある)

【団体での問題点】

- ・ 団体内で技術の継承、共有がうまくいっていない、担当者によってやり方が異なっていて、あとから入った人にはわからなくなっている
- ・ スタッフのスキルが一定でない、IT スキルが原因で業務がすすまないこともある
- ・ パソコンの説明やルール作りをしようとしても、なかなか理解が得られない
- ・ データやファイルの共有がうまくできていない (ファイルをパソコンのどこに保存するかのルールがない) ので、どこになにがあるかわからず、紙の文書が増え続けている
- ・ 欲しいハードやソフト等があっても財政難で購入できないでいる
- ・ スキルを備えた人材 (例: 財務がわかりパソコンの操作ができる) がなかなか見つからない
- ・ データが消えたことがある
- ・ 担当者がいないとお手上げになってしまう
- ・ ファイルを複数で扱い USB メモリ等でやりとりしていると最新のものがわからなくなる

【IT 担当者について】

- ・ 教えるひとによって内容が違うことがある
- ・ 担当者がいないときが心配
- ・ 担当者のスキルアップの時間がない
- ・ パソコンが増えたので、メンテナンスが行き届かない
- ・ 団体内でだれが IT 担当者かあいまい
- ・ 求められる技術が高度化してきている

2. 希望すること

【知識・スキルの問題】

- ・ 情報発信力
- ・ 作業スキル
- ・ スタッフ全員のスキルアップ
- ・ 今あるパソコンやソフトをもっと使いこなせるようになりたい
- ・ 団体内でトラブルがあったとき、ある程度スタッフ各自で対応できるようになってほしいので効果的な対策の仕方、解決方法を知りたい

【機材・ソフト・システムに関して】

- ・ わかりやすい使い方や説明（機器、ソフトウェア）
- ・ 格安で長く使える技術
- ・ ハイスペックの機材
- ・ フリーソフトの信用性や人気などについて信用できる情報
- ・ 安い周辺機器
- ・ Word などのよくできたサンプル集

【インターネット・セキュリティ関連】

- ・ サーバの安定運用
- ・ 自団体のウェブサイトのリニューアル
- ・ 出先で手軽にインターネットが使えるような環境（できれば無償で）

【団体】

- ・ 団体内でルールを決めたい
- ・ 情報管理と整理を進めたいが、データの保存をどこまですればいいのか迷う
- ・ NPO の活動場所では空間に限りがある。遠慮せずにパソコンで作業できる場所がほしい
- ・ 情報発信をしてボランティアをもっと集めたい、情報を多くのひとに届けたい
- ・ NPO の IT 強化に使える助成金
- ・ 専用のソフトやスペックの高い機器（財政に余裕があれば）
- ・ まずは経営基盤の強化

【IT 担当者、解決窓口】

- ・ よく知っているひとに気軽にきけるような環境
- ・ 困ったときすぐきてくれて解決してくれるサポート（今は専門業者に依頼している）
- ・ トラブルの内容をうまく説明できないので、出張して実際に見てもらえると助かる

3. その他

【ITに関して】

- ・ ネット環境は団体にとってライフライン
- ・ オープンソースの利用を検討している
- ・ ウェブサイトで情報発信をしているが、新聞などで取り上げられるとアクセスは急上昇する
- ・ ウェブサイトを本当に見て欲しいひとが見ているかについては疑問をもっている
- ・ 新しいものについていくのは大変だが、使えるようになれば生き方や人生が変わる⇒技術の進歩が障害のあるひとの生活の進歩に繋がっている
- ・ チラシなどを一箇所にまとめておくアーカイブサイトを作ってはどうか
- ・ パソコンの能力をどこまで引き出せているか疑問、パソコンの機能が多すぎるとも感じる
- ・ ITを使わずになにかをする能力が減っている
- ・ 退化している気がする、使うつもりが使われていることもある
- ・ 自分はメールやメーリングリスト活用が好きで実践しているが、NPOの連絡会などでの見聞ではメールがあまり活用されていないと感じている（メールがたくさんくると嫌がるひとがいるが、メールは捨てられるのがメリットだと思う）
- ・ ITの人材を求める際は、再インストールができることをスキルのめどとしている（Word Excelは操作ができるのが当然のことと考えている）
- ・ ウェブサイト、紙媒体、そのほかには？と知恵をしぼらなければいけない
- ・ 以前パソコンが起動しなくなり、ハードディスクからのデータ救出とシステムの復旧に時間と労力がかかったことから、セキュリティは必要経費と考えるようになった（もういやだ）
- ・ まだ使える機器でもスピードが遅すぎると感じられ、使わないままである

【NPOについて】

- ・ 運営資金が無くIT化やスキルアップができない（団体によってはITが苦手なメンバーが多いとパソコンがなくてもなんとかなることもある）
- ・ 団体内部のリテラシー改善をしたいが多く団体がお金と時間が無くてできないのだと思う
- ・ 団体、NPOとして力をいれていかなければならないのは情報発信・政策を作っていく力で、世の中をどう変えたいのかわかりやすく伝えるべき
- ・ 技術と見せ方、営業力が求められる
- ・ ITという道具を使いこなせていないのでは？企業はIT部門に投資しようとしているのを見るとNPOと企業の差を感じる
- ・ NPO全体として、組織を維持するための人材を見つけるのが困難だし予見に欠けている、組織をつくっているひとの感覚が古いのではないか
- ・ NPO全体として、情報発信の問題がある（お金があると情報発信できるという一面も）、ウェブサイトを作ればいいというものではなく、情報を出すことについて考えることが大事

【ITのサポートについて】

- ・ 以前寄贈されたパソコンは、ハードディスクの容量が小さく、ソフトを入れるとすぐ重くなり効率が悪かったので、リユースをするなら考慮してほしい
- ・ ひょうごんテックの役割は減ってきているのではないか（個々のITスキルがついてきた、値段も手ごろになった、メーカーサポート等十分にある、テックが全ての技術に精通し続けるのは無理等の理由で）
- ・ ITサポートをするNPOを行政がサポートすればよいと思う（スキルの高い技術者が行政などから援助をもらって自由にNPOを援助するなど）

第Ⅷ章 課題と今後に向けて

一般企業や事務所にパソコンが導入され、複数のパソコンをネットワークで接続するようになったのは20年余り前のことです。Windows95の発売によってそれらの動きが加速し、震災（1995年）の後、今から10年前ころからインターネットが普及し始め、仕事のやり方がパソコンを中心に変化し始めました。今では企業に限らず事務作業を行う現場では、1人1台のパソコンと、それらがインターネットに接続されていなければ、仕事が成り立たないという状況になっています。

もう一つの大きな変化は、組織や個人のコミュニケーションの手段として、Eメールが多用されるようになったことです。これは携帯電話およびブロードバンドの普及によるものが大きいと思われます。外出先からでもメールの送受信が可能になり、メールのチェックの頻度やそれにかかる時間は、仕事の中でも生活の一部としても無視できないものになっています。

今回の調査は、限られた一部の範囲のものですが、NPOの中でも、1人1台のパソコン、インターネットの活用、情報の共有などがごく普通の状況になっている事が明らかになっています。しかし、機器そのもののトラブルや、それらを利用する上での問題点も多く、これらをどう解決しているかについては、各団体の規模や、パソコン・インターネットに詳しい人が周囲にいるかないかで大きな格差が見られます。

パソコンを手に入れて、インターネットに接続し、それらをどう使っていくかという段階を過ぎたところで問題になるのは、情報の共有とそれに伴うセキュリティの問題です。情報セキュリティは、ウィルス対策だけではなく、情報を漏洩させないための保存場所の特定やパスワードをかけるなどの対策、トラブルに備えて定期的にバックアップをとること、どの情報が最新で誰が更新したかを明らかにするための運用ルールなどが含まれます。今回の調査では、このような点について話し合ったことはあるものの、情報セキュリティに関するルールを文書化している団体はありませんでした。

次に、調査の結果とひょうごんテックの支援活動の経験から、問題を整理しながら見ていくことにします。

団体間の格差について

団体の中、またはボランティアの中にITに詳しい人がいるかないかで、仕事中に起こるIT関係のトラブルの対応にかなりの格差があるように思われます。特に古いパソコンを使っている団体では、度々起こるトラブルで作成中の文書を失ったり、ハードディスクの破損でデータを失ったりといった苦い経験を聞くことがよくあります。

家賃や光熱費と同じ感覚で、最低3年は保証期間のついた機器を準備することで、最低限の安定運用が可能になると思われるのですが、小さな団体では、そのための予算がつけられないのが現状です。また団体所有のパソコンが古くなったため、あるいは団体で購入する予算がないために、個人のパソコンで作業をしている団体もありますが、この場合、個人の情報と団体の情報の混在というセキュリティの問題が生じます。

小さな団体では、個々にかかえている問題も、最適な解決方法も異なるので、ひょうごんテックのような個別に対応する支援団体の必要性が求められています。

パソコンのトラブル

ひょうごんテックに寄せられるトラブルのかなりの部分が、遅いとか、使用中に入力を受け付けなくなってしまうなど、状況があいまいなものが多いのですが、原因はパソコン自体が古く、最新のソフトウェアを動かすだけの能力がない場合がほとんどです。このような場合可能ならメモリを追加して、不要なソフトウェアを削除したり、ソフトウェアの設定を調整したりすることで元通り使えるようになることもあります。ただ、古いパソコンでは、メモリが非常に高価であったり、増設が不可能であったりすることも多いので注意が必要です。

ソフトウェアを新しくしたことで、パソコンの能力が追いつかなくなる場合に加え、インストールされたソフトウェア自体に不具合があって、トラブルを引き起こしている場合もあります。基本ソフトについてはWindowsアップデートやOfficeアップデートによって不具合が解消されますが、スキャナやデジカメをなどの周辺機器を増設したときにインストールしたものや、パソコンメーカーが提供しているソフトウェアの不具合については、インターネット上で最新のアップデートファイルを検索し、それらを個別にインストールしなければなりません。

また、パソコンの内部にホコリが溜まって温度が上がり、それが原因でトラブルになることもよくあります。パソコンの中には使用者がハードディスクやメモリを交換できないものもあって、メーカーに対応を依頼すると、部品の交換に新規購入と同じくらいの費用がかかることもあります。保証期間などと共に、購入時にチェックすることをお勧めします。

ウイルス対策ソフトの問題

最近のパソコンのトラブルの特徴として、ウイルス対策ソフトが原因になっている場合が非常に多いということがあります。まず、パソコン（CPU）の能力やメモリ容量が、インストールされるソフトに及ばないということ。この場合はより軽いウイルス対策ソフトに交換するか、可能であるなら設定を変える必要があります。

ウイルスがより巧妙になった分、ウイルス対策ソフトもより高機能になり、要求されるパソコンの能力が高くなっているのが実情ですが、最新のパソコンを容易に購入できるわけではないNPOにとってはやっかいな問題です。

今回の調査で、ウイルス対策をしていないパソコンを使用している団体は約40%ありました。ひょうごんテックに持ち込まれるパソコンの中には、購入時にウイルス対策ソフトが付属していても、使用期限が過ぎてパターンファイルが更新されていないものが相当数あります。また、古いパソコンからのデータ復旧を依頼される場合、かなりの確率でウイルスが発見されます。このことから、ウイルス対策ソフトをインストールし、最新のパターンファイルに更新しておくことは、情報をやり取りするパソコンとして最低限の条件だと思われれます。

Windowsの問題

調査対象のパソコンでは、Microsoft社製の基本ソフトであるWindows（約90%）と、同じくMicrosoft社製のビジネスソフトであるOffice製品がインストールされているパソコン（約90%）が大半をしめています。製造元が同じ製品であるため、環境の違いによって中身が見えないとか文字化けする、レイアウトが崩れるといった問題は、一部を除いて聞かれませんでした。

Microsoft Wordを使ってニュースレターを作成している団体で、バージョンによってレイアウト

トが崩れるという現象が報告されています。Microsoft Office に限らず、画像や書式情報を多用した文章では、バージョンによって頁数が変わったり、レイアウトが崩れたりする問題がよく起こります。しかし今後、新規パソコンを購入すれば、Windows Vista（基本ソフト）や Office2007（オフィス・ソフトウェア）との混在環境が避けられなくなるわけで、今まで以上のトラブルが予想されます。

また、Windows 以外の環境との混在から起こる問題もあります。Mac（Macintosh）を使用している団体は 31 団体中 7 団体あって、ひょうごんテックもそうですが、同じ Microsoft Office であっても交互に編集作業を行うことは困難です。

文書のレイアウトが崩れる現象は、基本ソフトや扱うソフトウェアの相違以外にも、インストールされているフォント（活字セット）や、設定されているプリンタの違いによっても起こります。文書をやりとりしたり公開したりする際、PDF という形式に変換すれば、同一のソフトウェアやプリンタがなくても同じレイアウトで参照可能です。埋め込みフォントという機能を使えば、作成時のフォントがインストールされていなくても同じ書体で表示することができます。

Windows95 や Windows98、Windows ME は、現在、製造元のサポート対象外となっており、業務で使用することは推奨されていませんが、今回の調査では台数の 4 分の 1 弱がこれらの基本ソフトを今も使っています。基本ソフトのバージョンアップをしようとすると、機能が豊富になった分だけハードウェア上の性能が要求されるため、結局、古いものを処分してパソコンを新規購入することになります。この点で多くの団体から不満の声が聞かれました。

団体のウェブサイトと情報発信

ほとんどの団体での関心事の一つが情報発信、特にウェブサイト（ホームページ）の活用です。いまや NPO や市民活動団体にとって、団体の一般的な情報をインターネット上に掲載しておくことは義務となっており、避けることのできない業務ですが、積極的活用となると、人材不足や技術習得のための時間不足に悩んでいる団体が少なくありません。定期更新できていない団体も 3 分の 1 弱あります。

ひょうごんテックがウェブサイトで相談を受けるものの一つが、作成者が団体を離れサポートができなくなったり、連絡が取れなくなったりしたために、ウェブサイトの更新でトラブルが起きているというケースです。団体のウェブサイトは団体の顔とも言えるもので、使用するツールの選択や、担当者の交代も視野に入れ、長い視点で計画を立てることが必要だと思われます。

情報管理について

情報の管理についても、団体間の格差が大きいと感じました。複数のスタッフがいて、LANDISK などの情報共有サーバを導入している団体は半数程度です。パソコンが複数台あって、情報が一箇所にまとめられていなければ、情報の整理や再利用、機密保持、定期的バックアップも効率的に行えません。ひょうごんテックでは、このような問題を改善し団体全体のスキル向上のために、サポート先のスタッフと定期的に話し合いをもつようにしています。NPO や市民団体にとって、情報管理という部分は、コストをかけずに改善できるポイントの一つと思われます。

スタッフの交代をきっかけとして

ひょうごんテックでは、スタッフの交代時におこる IT 関係の問題について相談を受けることも

度々あります。特に交代するスタッフが、団体の業務以外にも、情報管理や IT のトラブル対応、ウェブサイトの更新などを引き受けていた場合、団体全体にとって大きな問題になります。

NPO では、スタッフが複数の業務を引き受けていることが多く、日常業務のかたわらパソコンの情報整理やトラブルの対応をしていることがほとんどです。多くの団体では、そのような作業が文書化されていません。そのため、スタッフの退職などで、IT の問題を団体内部で対処することができなくなったり、新規のパソコンを導入してみたら、メールやデータにアクセスするパスワードを誰も知らなかったり、ということがよく起こります。

このような場合、ひょうごんテックでは、スタッフ、関係者、団体の責任者を含めて、問題を整理するためのミーティングを開くことを提案しています。問題がある程度整理できたら、実行可能な目標を設定して、団体内部でできることと、ひょうごんテックが手伝えること、専門業者に依頼することなどを切り分けます。

パソコンやインターネット、情報管理の問題については、予算や担当者の人選以外にも、団体の運営に密接に関わっていることがよくあります。特にセキュリティの問題など、方針が決まってすぐ実行できることもある反面、団体の合意が必要なために、時間をかけて改善しなければならないことも数多くあります。

今後に向けて

前章までをお読みいただくことで、各団体に共通する問題や、その解決のための数多くのヒントを発見されるのではないかと思います。今後の、「パソコン・インターネット活用」に大いに利用していただきたいと思います。

残念ながら本報告書で書ききれなかったことも数多くあります。詳しい内容や個別の相談については、お気軽にひょうごんテックに連絡を取ってくださるようお願いいたします。

1. 貴団体の活動や予算等についてお答えください。

① 団体名

② 住所

③ スタッフの人数についてお答えください。

フルタイムスタッフ 人 パートタイムスタッフ 人

ボランティア 人（定期的に活動に参加している大体の人数）

④ 団体の予算規模（今年度）についてお答えください。

50万未満 50万以上100万未満 100万以上300万未満

300万以上600万未満 600万以上1000万未満 1000万以上

2. 貴団体のパソコン関係の機器や使用しているソフトウェアについてお答えください。

① 団体の業務に使用しているパソコンの台数をお答えください。

入手経路別に、購入： 台／寄贈： 台／個人所有： 台／その他： 台

② 団体が所有している周辺機器や機材の台数をお答えください。

プリンター 台 スキャナー 台 複合機 台
LANDISK 台 その他（ ）

③ ①のパソコンのOS（パソコンが起動するときに表示される）は何ですか？

Windows Vista Business 台 Windows Vista Home 台
Windows XP Pro 台 Windows XP Home 台 Windows2000 台
Windows Me 台 Windows 98 台 Mac 台
Windows/Mac以外のOS（ ） 台

④ Microsoft Office を使っていますか？

Office2007 台 Office2003 台 OfficeXP (2002) 台
Office2000 台 Office95/97 台
Microsoft Office以外の同様のソフト（ ） 台

⑤ パソコンを使って行う業務にはどのようなものがありますか。（複数選択可）

文章作成（Wordなど） 表計算（Excelなど）
データベース（Accessなど） プレゼンテーション（PowerPointなど）
ニュースレターやちらし ホームページ作成 画像作成や加工
会計 販売管理 会員管理
その他（ ）

⑥ 業務で常時使っている主なソフトをお答えください。（複数選択可）

文章作成や表計算など： Word/Excel それ以外（ ）
 ニュースレターやちらし： Word それ以外（ ）
 ホームページ作成： ホームページビルダー それ以外（ ）
 インターネット： Internet Explorer それ以外（ ）
 メール： Outlook Express それ以外（ ）

⑦ ⑥以外で使っている主なソフトをお答えください。(複数選択可)

- | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> PowerPoint | <input type="checkbox"/> Access | <input type="checkbox"/> Publisher |
| <input type="checkbox"/> Photoshop | <input type="checkbox"/> Illustrator | <input type="checkbox"/> Acrobat |
| <input type="checkbox"/> その他 () | | |

⑧ インターネット接続についてお答えください。

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 光ファイバー | <input type="checkbox"/> ADSL | <input type="checkbox"/> ケーブル TV |
| <input type="checkbox"/> ダイヤルアップ | <input type="checkbox"/> その他 | |

3. 貴団体の IT にかかる費用についてお答えください。

① 直近の1年で、IT 関係のどのような項目に費用がかかりましたか？

- ・パソコンやプリンター、周辺機器などのハードウェア。 はい/いいえ
- ・パソコンにインストールされているソフトウェア、オンライン上で利用しているサービスなどの使用料 (オンライン会計やウィルス対策などを含む)。 はい/いいえ
- ・インターネット接続に関わる費用 (プロバイダ、サーバ使用料)。 はい/いいえ
- ・HP 作成やメンテナンスなど外部団体/個人への委託費。 はい/いいえ
- ・スタッフの学習、研修費、関連書籍の購入、講座への参加等。 はい/いいえ
- ・プリンタインクやタック用紙などの IT 関係の消耗品。 はい/いいえ
- ・その他廃棄に関わる費用など、IT に関係あると思われるもの。 はい/いいえ

② 直近1年で IT にかけた金額を概算でお答えください。

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 5 万未満 | <input type="checkbox"/> 5 万以上 10 万未満 | <input type="checkbox"/> 10 万以上 30 万未満 |
| <input type="checkbox"/> 30 万以上 60 万未満 | <input type="checkbox"/> 60 万以上 100 万未満 | <input type="checkbox"/> 100 万以上 |

③ 今後 IT 関係費をどうしたいと思われますか？

- | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 今の規模でよい | <input type="checkbox"/> できれば減らしたい | <input type="checkbox"/> できれば増やしたい |
|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|

4. 貴団体の IT セキュリティ体制についてお答えください。

① データバックアップを行っていますか？

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
|-----------------------------|------------------------------|

② ①の質問で「はい」の方、バックアップのやり方を教えてください。

- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 媒体： <input type="checkbox"/> 専用装置 | <input type="checkbox"/> MD/CD/DVD | <input type="checkbox"/> 外付け HDD | <input type="checkbox"/> その他 () |
| 頻度： <input type="checkbox"/> 毎日 | <input type="checkbox"/> 週/月に1回 | <input type="checkbox"/> 思いついた時 | <input type="checkbox"/> その他 () |
| 対象： <input type="checkbox"/> すべて | <input type="checkbox"/> 一部のデータ | <input type="checkbox"/> その他 () | |

③ パソコンにパスワードをかけていますか？

- | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> すべてのパソコン | <input type="checkbox"/> 一部のパソコン | <input type="checkbox"/> かけていない |
|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|

④ 複数のパソコンを所有している団体の方、パソコンのデータ共有をしていますか？

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> している | <input type="checkbox"/> していない |
|-------------------------------|--------------------------------|

⑤ データ共有をしていない場合、データのやり取りをどのように行なっていますか？

- | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> メール | <input type="checkbox"/> フロッピーディスク | <input type="checkbox"/> CD や MD など |
| <input type="checkbox"/> USB メモリ | <input type="checkbox"/> その他 | |

- ⑥ データを団体の機器以外に持ち出す場合のルールがありますか？
 文書化されている 話し合ったことがある ない
- ⑦ ファイアウォールやWindowsの自動更新(Update)を有効にしていますか？
 有効にしている 分からない その他 ()
- ⑧ パソコンのウィルス対策をしていますか？
 すべてのパソコン 一部のパソコン していない

5. 貴団体の業務でのIT利用状況についてお答えください(担当者の方の判断で結構です)。

- ① 業務文書の作成をパソコンでする理由はなんですか？(複数選択可)
 仕上がりがきれい 作業が早い メールなどで配布できる
 修正して再利用できる その他 ()
 パソコンで文書作成はしない
- ② 団体のホームページやブログについてお答えください。
 団体のサイトがある 今はないが、いずれ作りたい 作る予定はない
- ③ 上の質問で「団体のサイトがある」方、お答えください。
 作成したのは： 団体内部 外部に委託(有償) 外部に委託(無償)
 定期的更新は： している やりたいができていない 必要がない
- ④ ②の質問で「今はないが、いずれ作りたい」方、定期的更新を「やりたいができていない」方お答えください。(複数選択可)
 足りないものは： 時間 人材 資金 その他 ()
- ⑤ ②の質問で「作る予定はない」方、お答えください。
 条件を整えば作りたい 団体として必要がない その他
- ⑥ ITを使って解決したいと思っっていることをお答えください。(複数選択可)
 作業効率向上 情報発信 情報管理
 その他 ()
- ⑦ ITについて解決したいと思っっていることをお答えください。(複数選択可)
 セキュリティの向上 PC・周辺機器の購入 ソフトウェア等の購入
 ネットワーク構築 スタッフのスキル向上 その他 ()
- ⑧ ITを活用するために不足しているものをお答えください。(複数選択可)
 人材 専門的な相談窓口
 資金 時間
 その他 ()

⑤ 望むこと

Empty text box for item ⑤.

⑥ その他

Empty text box for item ⑥.

団体担当者 _____

団体 URL _____

団体 E-mail _____

訪問日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 () _____ 時～ _____ 時

聞き取り担当： _____

(調査票 Ver. 2.1 2007/02/22)

NPO のパソコン・インターネット活用状況調査 報告書
2007 年 9 月 1 日 発行

編集・発行 ひょうごんテック
連絡先 〒653-0052 神戸市長田区海運町 3-3-8
たかとりコミュニティセンター内
電話：078-739-7110
E-mail：tech@tcc117.org
URL：http://hyogontech.net/
印刷 (株)遊文舎
